

歴ネットさんだ郷土史講座

古写真・古地図により郷土史を語る

シリーズ第2回目！

三田町・中央町 界隈を語る —旧町人町—

現在の三田町・中央町界隈は江戸時代までは町人町でした。

戦国時代末期、荒木村重の命を受けた家臣荒木平太夫が三田城に入り、武庫川（三田川）の右岸に三筋の町割りを行ったのが始まりであると伝わります。

その後入封した、山崎片家の時代を経て武庫川左岸の三輪村のうち三輪神社に通じる街道沿いが町場化して現在の中央商店街（桶屋町、福井町新町）が成立したと言われています。

江戸時代に入ると、これらの町は町人中心のまちとして村方と区分され商人、職人の住む町として発展しました。

そして……現在も、その道筋は往時の面影を残しています。

講師 : 歴史文化財ネットワークさんだ 鴫田 洋一 氏

日時 : 8月21日(木) 10時30分～12時

場所 : 三田市立図書館本館 2階コミュニティホール

定員 : 先着 50名 (申込不要、当日受付)

参加費 : 無料

駐車場に限りがあるため、公共交通機関での来館をお願いいたします

【お問合せ先】○三田市立図書館本館 TEL. 079-562-7300

○歴史文化財ネットワークさんだ

メールアドレス rekinet3da@kjd.biglobe.ne.jp

ホームページ <https://rekinetsanda.jimdofree.com>

三田市立図書館
NPO法人 歴史文化財ネットワークさんだ 共催